

長野県林業大学校PF見学！

令和7年6月20日、長野県林業大学校の2年生20名が、厚岸町と標茶町に広がる「パイロットフォレスト」を見学しました。

これは同大学校の北海道の森林・林業を学ぶ研修の一環として、実施されたもので、根釧西部森林管理署と当センターが支援しました。

始めに、研修棟でパイロットフォレスト造成時の様子をまとめたDVDを視聴し、森林技術指導官から造成秘話の解説がありました。

次に、2班に分かれて、空中消火機材と林業機械の見学をしました。

その後、望楼へ移動し、4代目望楼からの眺望を楽しんでももらいました。約24mの高さから見下ろすカラマツ林や釧路港や別海方面が見渡せる開けた大地に感動している姿がありました。

全体を通して、多数の質問があり、真竜森林事務所森林官から現在の施業状況などの現場からの解説もあり、森林・林業に関する話題が盛り上がりつつありました。

見学を通じて、意欲的に学ぶ姿や長野と北海道の違いについても考える姿があり、これからの学びに役立っていただきたいと思います。



▽空中消火機材を見学する様子



▽研修棟での様子



▽植樹の様子

「雷別ドングリ倶楽部」開催！

令和7年6月25日、雷別国有林（標茶町雷別）で、今年度1回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、広葉樹の森林づくりを行いました。

これは高齢級のトドマツ人工林が立枯れし、笹地となった箇所ので、平成19年7月から「雷別ドングリ倶楽部」の会員の方々と協働で、森林再生に取り組んでいるもので、当日は会員11名が参加しました。

今回の参加者は、経験者の方がほとんどだったこともあり、スムーズに作業に取り掛かることができ、準備したミズナラ・ヤチダモ・カツラ・



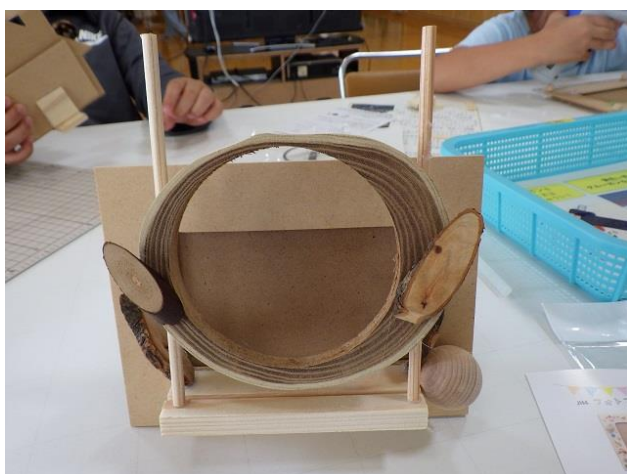
▽保護管を組立てる様子

キハダの120本の苗木を午前中に植え終わりました。
午後からは、保護管の組立てと植栽した広葉樹に被覆を行いました。暑さもあり、予定していたすべては被覆できなかったですが、無事に活動を終わることができました。
参加者の方からは、「楽しくなってきたところだからもう少しやりたい。」等の声が寄せられました。
今回の活動は、保護管が熱くなるほどの気温でしたが、参加者同士で声を掛け合い、休憩を取りながら安全に、森林再生に取り組むことができました。



▽タネの模型作りの様子

わんぱくアドベンチャークラブ
「木育ワークショップ」
令和7年7月19日、鶴居村ふるさと情報館において、わんぱくアドベンチャークラブ7月講座「木育ワークショップ」の依頼があり、活動支援を行いました。
この取組は、令和5年度より鶴居村教育委員会からの依頼を受けて、活動支援を実施しています。
今年度は、「木育ワークショップ」として最初に、・森林、林業について、・樹木のタネの運ばれ方をパワープイントで説明後、参加者18名を2班に分けて、交代で、風で運ば



▽フォトフレーム作品

れるタネの模型作り、その後、木工クラフトで「フォトフレーム」を作成しました。
タネの模型は、ラワン・アルソミトラの2種類を作成し飛び方の違いに、みんな何回も飛ばし、歓声をあげながらタネの不思議に触れてもらいました。
「フォトフレーム」はキットにマツカサやドングリなどをグルーガンで接着して、それぞれ個性的な作品を作成していました。
今回の活動を通じて参加した子供たちが森林の良き理解者になるよう願っています。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。